

科目名： 職場マネジメント論		科目コード	EJ05
科目主査： 高坂 一郎		単位	2
担当講師： 高坂 一郎		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： ☒あり☐なし	個人ワーク： ☒あり☐なし
職場マネジメントにおける管理者とメンバーとの関係のあり方は、昨今の環境変化により、従来の「管理」スタイルに「支援」スタイルが組み込まれて、変化しています。このような中で、職場の管理者のみならず、働く人すべてが、職場マネジメントの変化の背景、概要および対応のあり方について、理解することが求められています。本科目では、職場のマネジメントの担い手となる管理者（マネジャー）の行動に焦点をあて、管理者の役割認識と職場構想の検討という「総論」と、管理者とメンバーとの関係性を規定する、しくみづくり、目標による管理、問題解決、メンバー支援という「各論」の2つの分野に関する主要概念の要旨と実践上の留意点について学習します。			
履修の前提となる科目	☐あり☒なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキスト各章のテーマ（スクーリング講義計画の概要欄に記載）」について問いを立て、討議を通じて理解を進めていきます。各章のテーマに対して、自分自身の考えを整理するために、そのテーマに関するキーワードやポイントとなる箇所をマーキングし、不明点や疑問点について質問できるよう準備しておくことが望ましいでしょう。		
テキスト	『変革期におけるマネジメントの教科書』産業能率大学総合研究所マネジメント研究プロジェクト, 産業能率大学出版, 最新版		
この科目の到達目標	①職場における管理者（マネジャー）の役割を自分なりに理解し、自職場の「職場構想」の要素を踏まえ、自分の言葉で説明できるようにします。 ②自身の関わる職場における現象を、職場マネジメントの視点から問題として認識し、その解決策を検討できるようにします。		
成績評価の方法	「出席状況(提出課題を含む)」30%、「最終試験」70%とします。詳細は下記を参照してください。また、授業時の担当教員からの説明に従ってください。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。		
事後学習	仕事に従事する人にとって、職場は日々の生活の一部となる存在であり、好むと好まざるとにかかわらず、職場とのつながりは重要です。このため、職場マネジメントは理論的な理解のみならず、自分自身の実践的な行動も求められます。管理者ではない方も含め、職場において充実した社会生活を実現するためにも、スクーリングで培った知識を活用し、今までとは違った角度から、より柔軟な発想で周囲の人々とかかわることができるにとよいでしょう。		
事後学習の参考文献	『エッセンシャル版 マネジメント 基本と原則』P．F．ドラッカー, 上田惇生編訳, ダイヤモンド社, 2001年 『マネジャーの仕事』ヘンリー・ミンツバーグ著, 奥村哲史・須貝栄訳, 白桃書房, 1993年 『感情労働マネジメント』田村尚子, 生産性出版, 2018年		
スクーリング受講時に用意するもの ☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 ☒ 学生証			